



南部町立南部中学校 学校だより 第19号

チーム南部中

令和2年12月21日(月)

校長 望月和彦

新しい生徒会のリーダーを決める

輝城祭や音楽発表会など大きな行事も終わり、3年生が進路選択と受験勉強に集中する中で、生徒会のリーダーが3年生から2年生へ引き継がれる時期になりました。10月末に選挙管理委員会が組織され、11月11日までに会長・副会長に2年生から4名が立候補しました。それぞれの候補者は「どんな生徒会をつくり、どんな活動に力を入れていきたいか」を考え、推薦してくれた責任者と共に各教室を訪問したりして自分の考えを訴えました。12月9日の6校時には体育館で



立会演説会が開かれ、立候補者4人と責任者の3年生4人が最後の演説を行いました。これまでの生徒会が



創り上げてきた南部中の良き伝統を継承するとともに、それぞれの候補者が重点的に取り組みたい内容と具体的な手立てを堂々と全校生徒に伝えていました。責任者の3年生もそれぞれの候補者がいかにリーダーとしてふさわしいかを熱く語り、応援してくれました。立会演説会終了後にランチルームで投開票が行われ、会長1名、副会長2名が決定しました。当選・落選は決まりましたが、立候補者4名全員が「全校生徒のために役に立ちたい」「より良い南部中学校をつくりたい」という強い意志を持ち、責任者や推薦者など多くの生徒に信頼されて勇気を持って立候補した生徒たちです。私は校長として立候補した4名すべてを讃えたいと思うと同時に、これからの南部中のリーダーとして活躍してくれることを期待しています。

なお、国や地方公共団体の選挙では、2016年から18歳以上の国民が投票できるようになりました。3年生も3年後には投票できるようになるわけです。生徒会役員選挙は、役場から投票箱や記載台を借りたり、投票所には立会人を置いたりして、できるだけ大人の選挙と同じような形で実施しました。選挙の意義を学び、公正で民主的な選挙のあり方を学ぶ機会にもなっています。

「キャリアセミナー」と「職業講話」

本校ではキャリア教育（＝将来の進路選択や職業選択、自分らしい生き方について考えさせるための教育）に力をいれています。12月16日の3・4校時には2年生の「キャリアセミナー」、17日の2校時には1年生の「職業講話」を実施しました。

「キャリアセミナー」は、連携型中高一貫教育校としての事業の一つで、身延高校の1年生が「産業社会と人間」「総合的な探求の時間」などの授業や職業人インタビューで調査・研究したことをまとめて、中学2年生に発表するものです。16日には35名ほどの身延高校生が本校体育館で、職業ごとのブースを設け、それぞれが調査した職業について中学生にプレゼンテーションしてくれました。楽器の製造販売業、声優、飲食店、ジムトレーナー、プライダグプランナー、



プロサッカーの広報担当、看護師、自動車整備士、美容師の9つのブースごとに、高校生が準備してきた揭示物や資料を使ってわかりやすく説明していました。質疑応答の時間もあり、中学生からの質問に高校生が言葉を選びながら一生懸命答えている姿が印象的でした。15分ずつ3回に分けて、中学生が異なるブースに移動しながら学習する形をとりました。1回目は中学生・高校生双方とも少し緊張気味でしたが、2回目になると

高校生も自信を持って発表し、打ち解けた雰囲気の中で質疑応答も笑顔で進められていました。年齢の近い高校生から、職業の内容やその職業に就く方法、職業のやりがいや苦労について詳しく教えてもらったり、話し方や資料の提示の仕方などプレゼンテーションの方法を学んだりすることができ、中学生にとっては普段と違う貴重な学習の場になりました。本校の卒業生もたくさんいて、高校生として成長した姿を見せてくれたことが嬉しかったです。

1年生は毎年この時期に、地域の職業人から話を聞く「ワイド相談」を実施してきましたが、今年度はコロナのために中止とし、代わりにハローワークから講師を招いて「働くということ」というテーマで「職業講話」を行いました。鯉沢ハローワークの高見澤さんと有泉さんのお二人が「働くことの意義」「どんなことを考えて将来の夢（職業）を選んだら良いか」「中学生として今必要なこと」などを、質問コーナーを入れながら



わかりやすく説明してくれました。私の印象に残っていることは、「ほとんどの会社（職業）で求められることと、学校生活で必要なことは同じである」というお話です。ほとんどの会社で求められること（学校で必要なこと）は右の5つだそ

- ①コミュニケーションがとれる（だれとでも話ができる）こと
- ②協調性がある（誰とでも仲良くできる）こと
- ③主体性がある（自分で考え実行できる）こと
- ④向上心がある（何事にもチャレンジできる）こと
- ⑤誠実である（まじめに決められたことができる）こと

うです。1年生はもちろん、全校生徒にこの5つを学校生活の中でも意識してほしいと思います。1年生は講師の話を中心して聞き、質問もたくさん出していたので、講師のお二人からもとてもほめていただきました。

生徒たちの文化面での活躍を紹介します

【峡南消防本部防火ポスターコンクール】

入選 2年：田中亜衣菜さん 武川洋斗さん

【教育祭図工美術作品展】

県特選 1年：鈴木湊羅さん 横山海琉さん 依田大輝さん 2年：木内紗世さん 山本開翔さん
3年：芦澤優太さん 小池咲來さん 桐戸捷成さん

地区入選 1年：11人 2年：12人 3年：15人（多数のため氏名は省略）

【南部町福祉作文】

入賞 1年：芦川圭澄さん 柿島瑛心さん 2年：朝夷礼央さん 望月優香さん
3年：佐野寧音さん 近藤優也さん

【JA 共済小中学生書道コンクール】

条幅の部銀賞 半紙の部佳作 ともに 3年：小林月妃さん

「資源回収」～町民の皆様、ご協力ありがとうございました～

12月6日にPTAと生徒会が中心となり「資源回収」を行いました。天候にも恵まれ、保護者、生徒、教職員が地域の方々の協力を得て、町内全域から古紙（新聞紙・雑誌・書籍・段ボール）、牛乳パック、アルミ缶、古着などをアルカディア、給食センター、旧西市製材所、万沢支所、十島駅の5カ所の回収場所に集めました。生徒や保護者の人数が少なくなり、地域によっては回収や分別作業が大変だったようですが、多くの地域の一般の方々が協力してくださり、無事にたくさんの有価資源を集めることができました。収益の合計金額は200,860円。

（詳細は別紙の保護者宛での通知をご覧ください）古紙やアルミ缶等の換金率が低くなったことや自粛期間中にいらぬものを処分された家庭が多くあったためか、例年より収益は少なくなりましたが、町民の皆様の温かい気持ちによって得られた貴重なお金です。生徒たちのより良い学習環境整備や部活動支援、生徒会活動補助等に大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

